

平成28年度 十日町市・中魚沼郡国語部 活動報告

部長 市川 綾子

1 研究主題

児童が意欲的に参加できる授業づくり

2 研究の概要

県の最重要課題である確かな学力の育成のため、日々の授業改善が各校で進められている。平成28年度は、前年度に引き続き「授業で学ぶ」ことを重点に掲げ、授業力向上を目指し研修を行った。後述のとおり、優れた講師、市内エキスパート教員の師範授業を通して、国語の授業力向上、更には小中連携強化も図る充実した取組となった。

なお、「授業で学ぶ」に先駆けて、授業改善をより一層具体的に進めていくための手立てを獲得するために、上越教育大学から講師を招いての講演会を8月に行った。

3 研究の実際

4月28日 郡市教振委員会総会 会場：十日町市中央公民館
(木) ・組織、役割分担

・テーマ設定、年間計画

8月23日 郡市教振「国語部」研修会 会場：十日町小学校
(火) ①講演会

演 題：児童生徒が意欲的に参加できる国語の授業づくり
～論理的思考を促す授業づくり パート2～

講 師：上越教育大学 准教授 古閑 晶子 様

②グループ別情報交換（ワールドカフェ方式）

9月15日 市授業力向上研修会 会場：西小学校
(木) 師範授業と講演会

演 題：「日常生活」の改善を考える
～なぜ「味噌汁・ご飯」授業を提起するのか～

講 師：元横浜市立小学校教諭、初任者アドバイザー 野中信行 様

11月30日 エキスパート教員研修会 会場：南中学校
(水) 公開授業： 2年「走れメロス」

授 業 者： 佐藤 孝幸 教諭

指 導 者： 十日町市教育センター嘱託指導主事 高橋 しげ子 様

4 成果と課題

- (1) 「授業で学ぶ」をテーマに、実際の授業を基に小中の教師が指導法や児童生徒理解の進め方を協議することで、具体的な授業改善の視点を得たり、小中連携の見直しが図られたりした。
- (2) 昨年度に引き続いて実施した上越教育大学古閑准教授の講演では、次期学習指導要領の要点に基づいて、論理的思考を促す授業づくり等について、教材分析等を具体的に示していただいた。参加者にとって、日常の国語授業を改善していく方策について考える機会となり、大変有益であった。また、講演後のファシリテーショングラフィックによるワークショップも、実際の授業で用いることができる有効な手法であると好評だった。
- (3) 思考力、判断力を育む場としての言語活動の充実が求められている。思考力、判断力そのものの伸長が図られているか、学校単位での検証が必要である。また、全国学力・学習状況調査から、「読むこと」の課題が明らかになっている。言語活動の充実と共に、国語力全体を保証する授業改善が望まれる。